



# ほむら 秀群

【スローガン】

つなぐ

& つながる

鹿嶋市立鹿島秀群学園鹿島中学校

鹿嶋市宮中 2398 番地 1

TEL 82-1455 FAX 83-7768

Eメール：630501@sch.ibk.ed.jp

【学校教育目標】 心身ともに健康で、主体的に学び、社会に貢献できる生徒の育成【対話・共生】  
～対話を通して、お互いの違いを理解し、認め合う～



## 新たな一歩への「助走の時期」

立春を過ぎ、暦の上では春が始まりましたが、まだまだ寒い日が続いています。保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、3年生は、受験や卒業を前に教室の空気は心地よい緊張感に包まれています。来る3月10日、本校にとって最も大切な行事の一つである「卒業証書授与式」を挙行いたします。卒業生にとっては「義務教育の集大成」であり、在校生にとっては「鹿島中学校の伝統を受け継ぐ」という、心のバトンタッチの場でもあります。在校生たちが感謝の気持ちを込めて整える舞台上、卒業生が胸を張ってこの学び舎を巣立っていけるよう、残された一日一日を大切に積み重ねてまいります。

### 2 学年「野菜たっぷり弁当考案プロジェクト」発表会開催！

2月5日（木）、2年生の「総合的な学習の時間」で考案してきた「野菜たっぷり弁当」の企画発表会を行いました。このプロジェクトは、茨城県が推奨する「いばベジスタイル」に基づき、県民の健康寿命向上を目指すためにメニュー考案したものです。鹿島アントラーズ、茨城県健康推進課、株式会社カスミと連携したこの取組は、地域全体で子供たちの学びや成長を支え「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」の一環にもなっています。生徒たちが「どうすれば野菜をおいしくたべてもらえるか？」と試行錯誤した各グループのアイデアを基に、株式会社カスミにて実際の商品化が検討される予定です。



### 祝 初出場 いばらきっ子郷土検定県大会で大健闘！

2月7日（土）に本校は鹿嶋地区代表として、開校以来初となる県大会に出場しました。この検定は、中学2年生を対象に、茨城県の歴史や文化、魅力を深く知ることが目的として行われているものです。代表として出場した生徒たちは、これまで昼休みや放課後の時間を見つけては、互いに問題を出し合い、地道な学習を積み重ねてきました。県内各地区の予選を勝ち抜いた強豪校が集まる中、緊張感漂うステージ上でも堂々とした表情で難問に積極的に挑みました。結果は、惜しくも上位ステージ進出こそ逃したものの、郷土・鹿嶋、そして茨城県を愛する心と、最後まであきらめない姿勢は、会場にいた多くの方々に感動を与えました。



### 地域で活躍！社会貢献活動

本校では、教室での学びに留まらず、社会の一員として貢献する「ボランティア活動」にも力を入れています。1月に行われた主な社会貢献活動を紹介します。「鹿島アントラーズ・ホームゲーム運営支援」では、柔道部・剣道部の有志が、試合日のキッズコーナー運営をサポートしました。元気な挨拶と細やかな配慮で、地域の子供たちの安全な遊び場づくりに貢献しました。「外国人による日本語スピーチコンテスト」では、本校生徒が審査員として参加しました。多文化共生への理解を深め、多様な視点から意見を発信する貴重な経験となりました。



### 地域とともにある鹿島中を目指して 第4回学校運営協議会

2月20日（金）、第1学年「総合的な学習の時間」に合わせ、第4回学校運営協議会を合同で開催しました。当日は、学校運営協議会委員の皆様と生徒が「避難所運営ゲーム HUG（ハグ）」に取組みました。生徒は、次々と避難してくる避難者の状況に戸惑いながらも、委員の皆様のアドバイスを受け、避難者の適切な配置などについて熱心に考えていました。生徒からは「避難の時は迅速な対応が必要であることを学ぶことができた」「実際に災害が起こってしまったら、今日のように協力して頑張りたい」などの感想がありました。災害を「自分事」として捉え、地域の一員として何ができるかを考える貴重な時間となりました。

